

# 会 議 録

## 1 会議名

第1回上越市同和対策等審議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

- (1)高田開府400年記念誌等への古絵図掲載問題について（公開）
- (2)第三次人権総合計画平成27年度実施計画について（公開）
- (3)人権・同和問題に関するアンケート調査について（公開）
- (4)その他（公開）

## 3 開催日時

平成27年2月17日（火）午後2時から

## 4 開催場所

上越市役所 401会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

該当（非公開）なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：井上文代、荻原キミ子、宇賀田房代、橋本良子、渡邊秀明、嶋田守雄、寺田喜男、磯貝芳彦、藤本孝昭、菅 文男、中戸正子、佐藤睦子
- ・関係課長等：牛木福祉課長、山崎高齢者支援課副課長、堀川こども課副課長、笹川生涯学習推進課長、竹内学校教育課副課長
- ・事務局：笹川自治・市民環境部長、大山共生まちづくり課長、山田人権・同和対策室長、小林人権・同和対策室係長

## 8 委嘱状の交付、あいさつ

### ○ 委嘱状交付

今回新たに委嘱されたお一人に、自席で自治・市民環境部長が手交する。

### ○ 寺田会長あいさつ

### ○ 笹川部長あいさつ

### ○ 委員自己紹介

### ○ 関係課職員自己紹介

## 9 発言の内容等【要旨】

### (1) 高田開府 400 年記念誌等への古絵図掲載問題について

● (事務局) : 配付資料により古絵図掲載問題について説明する。

#### ○ 質 疑

(寺田会長) : 再発防止の取組で連携会議は毎年やると説明があったが、他はどうか。

(山田室長) : その他についても毎年開催していきたいと考えている。

(渡邊委員) : 2 点質問したい。6 月議会の質問が出て頒布を一時見合わせるまでにどの位出て、それにどの位差し込めたのか。もう一点、再発防止として庁内連携会議を組織するとあるが、これは平成 2 年の高田市史問題でも組織されたのではないかと。

(山田室長) : 記念誌は 3 月末の発行であり 4 月から 6 月まで頒布されている。数字については後日回答する。連携会議については、高田市史問題に関する基本方針として平成 2 年に関係部局間の連絡調整の徹底を欠いたと回答しているが、その後いつの頃からかその調整をやめてしまって現在に至っている。

(渡邊委員) : 議会で追及されるより 2 週間も前に聞き取りを行っているのに何の動きもしなかったこと、県内のトップでもこうなのかと。また今の時期ではなく、もっと早く総括すべきだったと思う。またこの手の問題は行政の中だけではない。お土産屋などで同様の古地図が売られていたが何もしなかったことなど猛省が必要だ。

(笹川部長) : 私も含めて職員の中で意識が薄れてしまったと反省している。昔の地図の名前が出ていてもいいのではないかとという単純な割り切りがあった。いろいろ形を変えてインターネットなどでも差別につながることもあるが、常にアンテナを高くして対応していかななくてはならないと感じている。民間の冊子にも同様事例があったので資料の貸出等にも必要な措置を講じていきたい。

(渡邊委員) : 私たちは事実を隠せと言っているのではない。ただ、被差別部落には偏見だけがあってマイナスの部分だけが出てしまう。もっと高田町で担ってきた役割、貢献してきたことも併せて啓発をして欲しい。

(寺田会長) : 言葉では教訓を継続するとか、意識を失くさないようにすると簡単に言えるがこれを維持するのは並大抵のことではないので腰を据えてお願いしたい。またこの出来事は啓発のいい教材になるのでチャンスにしていきたい。

### (2) 第三次人権総合計画平成 27 年度実施計画について

● (事務局) : 第 2 章の「同和問題の根本的かつ速やかな解決」について説明する。

#### ○ 質 疑

- (中戸副会長) : P2 の下に上越支部への補助とあるが以前これは補助ではないと聞いた。  
先ほど部落内のアンケートが困難と言われたが、たとえばそういう行政でやり切れないことに支部の協力願うのではないか。P5 の上と書きぶりが異なるのだが。  
(山田室長) : 昨年もそういう話が出た。実際に市民への啓発として学校などにも行っていただいているが、款項目上は補助金である。書きぶりを検討したい。
- (渡邊委員) : P2 の人権侵害の救済と擁護の中に当てはまると思うが、このところ在日韓国人に対するヘイトスピーチ問題がある。市民に被害が及ばないと行政としては動きにくいと思うが、そろそろこの問題も議題になってもいいのかなと思う。  
(山田室長) : ヘイトスピーチについて具体的に話し合いはしていないが多くの自治体で国への法規制の意見書採択の動きがあることは承知している。  
(笹川部長) : 当市は国際交流協会を作って内なる国際化を進めてきた。サッカー試合の件も心を痛めている。国が違うからと言って差別して言い訳が無い。  
(佐藤委員) : 上越市ではヘイトスピーチに関し大きな問題は起きていない。ただ在日の人が多く多い。外国人相談として個人的な相談はある。
- (菅 委員) : 評価のところ、ずっとCが続いているのがあるが、出来ないのであれば外していいのかなとも思うのだが、計画としてどうなのか。  
(山田室長) : たとえば P2 の中央集会の参加について参加が難しいなら計画から外してはということだが、我々としては外せない。人権侵害救済法制定への働きかけ等で参加したこともある。P6 の環境整備活動の推進についても空き家等の対策を検討する必要もあり、はずせないものである。  
(寺田会長) : 質問の趣旨は、評価がCにならないように頑張りたいということかと。
- (中戸副会長) : 評価には違和感もあると思うが、たとえば開府 400 年問題で継承されてこなかったと反省があったが、そのことで研修とか連絡調整などの評価が落ちることはないのか。指摘されて以降、頑張ったのでAなのだということか。  
(山田室長) : この評価というのは第三次の計画からやっている。古絵図問題を発生させてしまったのはまさに研修が実を結んでいなかったことなのでAではないかも。  
(中戸副会長) : 問題発生以降の研修で、しっかりと腑に落ちたというならAだろう。  
(寺田会長) : むしろ去年のAは形骸的につけたが、今年は自信を持ってということだ。  
(大山課長) : このあとの男女共同参画でも言えるが、事業の取組とはこの1つについてどうだったのかである。そうするとその事業は確かにやっている。しかしそういう個別評価とは別に、総合的にみてどうだったのかも考えていく必要があると思う。

- (事務局) : 実施計画第 3 章「障害者の自立と社会参画の実現」、第 4 章「男女共同参画社会の実現」、第 5 章「外国人市民の人権保障の実現」を説明する。

○ 質 疑

- ・ (佐藤委員) : 安倍政権が外国人技能実習生の受け入れを最長 3 年から 5 年にしようとしている。技能実習生の人権に関して、ある事業所に「中国語はしゃべるな」と掲示されていると聞いた。これは問題ではないかと感じている。

(大山課長) : 外国人を雇用している企業との連絡会議があるので、人権に関わるものであれば、警察が主催する会議だが注意喚起を図ってまいりたい。

- ・ (橋本委員) : P8 のタクシー券について、一人に年間いくらか位発行されるものなのか。

(牛木課長) : 身体・知的・精神障害者に社会参加助成として年 19000 円支給している。

(山崎副課長) : 高齢者支援課としては外出支援として月 150 円券を 4 枚発行している。

- (事務局) : 実施計画第 6 章「高齢者の社会参画の推進と社会福祉の充実」、第 7 章「子どもの人権の確保」、第 8 章「その他の人権」を説明する。

○ 質 疑

(寺田会長) : 学校で実施している安心安全マップ作りは子どもの人権に含めないのか。

(竹内副課長) : 達成状況についてはすべての学校で実施している状況にある。

(磯貝委員) : 今後の検討課題として新潟水俣病被害者問題を取り上げてはと思う。

(寺田会長) : 私も関わっているのでよろしく。それでは総合計画の審議については、ここまでとしたい。事務局で何かあれば。

(山田室長) : ただいま協議いただいたことについて資料を修正して再度送付する。

(3) 人権・同和問題に関するアンケート調査について

- (事務局) : 配布資料により新年度実施する市民アンケートについて説明する。

○ 質 疑

(寺田会長) : 事前にいただいた意見を報告願いたい。

(小林係長) : まず標題を「人権・同和問題…」ではなくて、「人権問題、同和問題」としてはどうかという意見あり。

(藤本委員) : 県教委では「人権・同和教育」という表現をやめ「人権教育、同和教育」としている。説明資料の 1 にも人権と同和問題とあるが整合をとるべきでは。

(寺田会長) : 後日検討してまいりたい。

(小林係長) : その他に問 20 の被差別部落の起源について、回答の中に中世を入れるべきではという意見あり。

(渡邊委員)：他でもこういう聞き方が多い。差別意識の把握のためなのか。

(小林係長)：問 28 に小・中学校における同和教育について質問しているが、小・中  
では同和教育を広く捉えているということを注記すべきではとの意見あり。

(寺田会長)：そうすると容認派が増えて、今までとの比較という意味でどうなのかとも  
思う。その他にも差別を知ったきっかけの選択肢にインターネットを入れた  
らどうか。また本人通知制度の認識についても聞いてはどうなのかと思う。

(渡邊委員)：一年前の県民調査で身元調査を容認する人が 3 分の 2 となった。紙面が  
許すなら上越でも聞いてほしい。

(中戸副会長)：議事からそれるが、以前、男女共同参画を推進していた頃、学校での  
児童生徒の呼び方を男女とも〇〇さんに揃えたと思うが今も続いているか。

(磯貝・藤本委員)：継続している。今はもう、〇〇くんとは使わない。

(寺田会長)：本日いただいた意見を検討し、必要に応じて委員にも連絡した上でアン  
ケートを実施していきたい。

#### (4) その他について

○(事務局) 特になし。

以上で審議会終了 午後 4 時 00 分

#### 9 問合せ先

自治・市民環境部共生まちづくり課人権・同和対策室 TEL:025-526-5111 (内線 1832)

E-mail: kyousei@city.joetsu.lg.jp

#### 10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。